

5. 奈良県キャリアラダー

キャリアレベルの定義

* キャリアレベルは、下位レベルが到達したことを前提に次のレベルにあがることとする。

獲得すべき専門能力

A1	A2	A3	A4	A5
<ul style="list-style-type: none"> ・年度単位でひとつの業務を実施することができるレベル ・個人、家族への基本的な支援に責任をもつレベル 	<ul style="list-style-type: none"> ・複数年単位で複数の業務の方向性を決定し、実施することができるレベル ・集団、組織、地域への基本的な支援に責任をもつレベル 	<ul style="list-style-type: none"> ・複数業務の展開、改善に責任をもつレベル ・住民、関係機関と協働しより深い支援に責任をもつレベル 	<ul style="list-style-type: none"> ・管理的役割の補佐ができるレベル ・施策化、システム化の提案に責任をもつレベル 	<ul style="list-style-type: none"> ・全庁的な管理的役割を担うレベル ・施策化の立案、システム化に責任をもつレベル

<p>地域診断</p> <ul style="list-style-type: none"> ①個人・集団・地域の情報から健康課題とその背景要因を明確化する能力 ②健康課題を解決・改善する社会資源の量と質の課題を明確化する能力 ③根拠に基づいて健康課題の優先度を判断する能力 ④地域の健康課題の解決に寄与する根拠に基づいた社会資源の開発・改善の優先度を判断する能力 	<p>指導のもとに、地域活動レベルの健康課題を現在ある情報をもとにアセスメントし、明確化・文章化できる。</p>	<p>・地域活動レベルの健康課題を新たな情報や横断的・縦断的情報からアセスメントし、明確化・文章化できる。</p> <p>・基準に基づいて優先度を考えることができる。</p>	<p>・地域活動レベルの健康課題を地域全体の情報を統合、比較しながらアセスメントし、明確化・文章化できる。</p> <p>・基準に基づいて優先度を判断できる。</p>	<p>・管轄地域全体の健康課題を明確化・文章化できる。</p> <p>・基準に基づいて優先度を判断できる。</p> <p>・目標設定に向けて、どの程度、解決・改善が可能かを検討できる。</p>	<p>・管轄地域全体の健康課題を明確化・文章化できる。</p> <p>・地域内及び地域外との比較から格差・不平等の実態を縦断的・横断的に把握し、優先度の判断に活用できる。</p>
<p>計画策定と施策化</p> <ul style="list-style-type: none"> ①健康課題・背景要因をいつまでにどの程度解決するか目標を設定する能力 ②目標に到達する事業・活動を計画する能力(エビデンスに基づいて実施する能力) ③既存事業の評価に基づき、より目標の到達に寄与する効果的・効率的な事業を改善・開発する能力 ④目標の到達に寄与しない事業をスクラップする能力 ⑤目標の到達度を測る評価計画を立案できる能力(アウトカム/アウトプット/プロセス・企画/ストラクチャー) ⑥地域の課題解決のため保健施策を予算化する能力 	<p>・指導のもとに、担当事業の目的や意義、背景を理解し、役割を遂行できる。</p> <p>・事業の法的根拠や体系・予算のしくみが理解できる。</p>	<p>担当事業の長期目標、短期目標を設定し、その到達に向けた計画を立案・実施できる。</p>	<p>・担当事業を評価し、成果確認と改善に向けた提案ができる。</p>	<p>・評価結果に基づき、事業のスクラップ&ビルドについて判断し提案できる。</p> <p>・事業、施策の実施計画と予算計画を立案し、説明できる。</p>	<p>管轄地域の計画策定・施策化に参画できる。</p> <p>・施策化に向けて意見を集約しビジョンを構築できる。</p> <p>・組織内外の状況を統括し施策化を推進できる。</p>
<p>地域活動展開 個別支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ①健康課題をかかえる個別の事例に対し、当事者自らが健康課題を解決するプロセスへの援助を行う能力 ②健康と生活における包括的なアセスメントを行う能力 ③生命に関わる優先度の高い健康課題に迅速に対応する能力 ④自立、QOLの向上に向けて適切(予防的支援)な支援方法を選択し支援する能力 ⑤潜在する健康課題や対象を把握する能力 	<p>指導のもとに複雑でない健康課題をもつ個人・家族への支援計画を立案し、支援を展開できる。</p>	<p>指導のもとに複雑な健康課題をもつ個人・家族への支援計画を立案し、支援を展開できる。</p>	<p>複雑な健康課題をもつ個人・家族に対し、根拠に基づく判断で臨機応変に支援を展開できる。</p>	<p>・事例支援へのスーパーバイズと関係機関との調整ができる。</p> <p>・スタッフの個人・家族への支援の全体像を把握し、管轄地域内に潜在している健康課題を感知することができる。</p>	<p>・潜在している健康課題を実在化し、支援体制を構築できる。</p> <p>・対応困難な事例支援へのスーパーバイズと関係機関との調整ができる。</p>
<p>地域活動展開 集団支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ①集団での支援を要する健康課題を明確化する能力 ②支援を要する集団を特定する能力 ③特定の集団にアクセス/アプローチし支援にむすびつける能力 ④集団の特性に応じたグループ支援の方法を選択し、実践する能力 	<p>現行の集団の特性と健康課題及び支援方法を理解し、説明できる。</p>	<p>現行の支援評価から、課題を明確化し改善の方向性を検討できる。</p>	<p>・個人から集団支援移行への円滑化にリーダーシップがとれる。</p> <p>・支援を要する集団を特定できる。</p> <p>・現行の集団支援の質を改善できる。</p>	<p>集団の質を評価し、集団に適した支援のスーパーバイズができる。</p>	<p>特定した集団に根拠に基づいた方法を選択できる。</p> <p>・管轄地域内の支援体制が個も集団も含めて体系的に整っているかを判断できる。</p>
<p>地区組織活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ①住民、住民組織が主体的な健康づくり、地域づくり活動をはじめられるよう関係を築き動機付けができる能力 ②組織化に至るよう支援する能力(実態の見える化、先駆例提示等) ③住民組織及び自主グループの活動を継続できるよう支援する能力(成果のフィードバック、助言等) ④各機関同士、関係機関が協働しネットワーク化を支援する能力 ⑤行政への提言、施策への参画の段階へと育成する能力 	<p>既存の活動に参加し、それまでの役割を継続することができる。</p>	<p>新しい地区組織の必要性を判断し、立ち上げに向け動くことができる。</p>	<p>地区組織の成長レベル、次の方向性を判断し、地区組織活動に盛り込むことができる。</p>	<p>管内全体のバランス(格差・過不足)をみて、多様な住民組織のネットワークをたちあげることができる。</p>	<p>管内全体の過不足・格差を判断し、充実の方向性について部下と共有し、スーパーバイズができる。</p>
<p>地域ケアシステム推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ①既存の地域ケアシステムの全体像を把握し、課題を明確化する能力 ②地域ケアシステムのあるべき姿、ビジョンを構築する能力 ③②に到達するために、協働・対話が必要な住民・関係機関を選択する能力 ④協働・対話を推進し、地域ケアシステムをより良い方向にリードする能力 	<p>地域ケアシステムの全体像を理解し、主だった事業・会議の意義・課題が説明できる。</p>	<p>既存の地域ケアシステムの目指す方向性について、関係機関と共有することができる。</p>	<p>・関係機関との合意形成に向けた対話が推進できる。</p> <p>・新たなシステムの提案ができる。</p>	<p>新たなシステムを形にすることができる。</p>	<p>・庁内部署横断的な連携体制の構築とシステム開発ができる。</p> <p>・各分野の全国的な動向を把握し、先駆地のモデルが転用できるかについて判断できる。</p> <p>・予算化し実現できる。</p>
<p>健康危機管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ①組織的に健康危機管理マニュアルの内容を把握し、有事に備える能力 ②平常時に地域の健康危機管理体制の課題を明確化し、被害の低減化に向け整備する能力 ③健康危機発生時に情報を適切に収集・処理し、迅速かつ適切に対応する能力 ④健康危機発生時に組織内外の関係者と連絡・調整・交渉する能力 	<p>平時において健康危機管理マニュアルが理解できる。</p> <p>・自治体内の健康危機訓練に参加し実際の動きをイメージすることができる。</p>	<p>平時において、担当地域の危機管理体制整備の不備を明示できる。</p>	<p>平時において、担当地域の危機管理体制整備の不備を改善できる方法について提案できる。</p>	<p>平時において、住民・関係機関との連絡体制をつくることことができる。</p>	<p>・平時において、担当地域の危機管理体制整備状況と方向性を把握できる。</p> <p>・全国レベルで共通されているものを熟知し、新たな開発を含め自治体に即した活用ができる。</p>
<p>健康危機管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ①組織的に健康危機管理マニュアルの内容を把握し、有事に備える能力 ②平常時に地域の健康危機管理体制の課題を明確化し、被害の低減化に向け整備する能力 ③健康危機発生時に情報を適切に収集・処理し、迅速かつ適切に対応する能力 ④健康危機発生時に組織内外の関係者と連絡・調整・交渉する能力 	<p>有事において、担当地域の危機管理体制整備状況や課題を把握することができる。</p>	<p>有事において、健康危機マニュアルに基づき予防活動を行うことができる。</p>	<p>有事において、関係者・関係機関との連絡調整を行い、状況に応じた役割の明確化ができる。</p>	<p>・健康危機の被害拡大防止のための具体的な提案ができる。</p> <p>・組織内の関係部署と連絡、調整できる。</p>	<p>・健康危機発生時に緊急度を見極め、対応の指示ができる。</p> <p>・広域的な多機関との連絡調整、支援ができる。</p>
<p>人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ①自己の学習課題を明確にして自己研鑽を継続し経年的にキャリアを積む能力 ②学生・後輩・同僚の学習課題を理解し学習支援する能力 ③キャリアレベルに応じた到達目標と人材育成計画を立案する能力 ④人材育成のビジョンをもち、計画的・継続的・組織的に取り組みを進めることことができる能力。 	<p>・キャリアラダーを理解し、自己位置の確認ができる。</p> <p>・キャリアプランをたてることことができる。</p> <p>・学習課題を明確にし、取り組むことことができる。</p>	<p>・保健師学生の指導者を担うことことができる。</p> <p>・プリセプターの役割を担うことことができる。</p>	<p>後輩のモデルとなれる行動を示すことことができる。</p>	<p>・全員の到達度を把握し、個々の学習計画の推進に助言できる。</p> <p>・職場の人材育成を計画し、システムについて提言することことができる。</p>	<p>・組織の発展と人事管理について計画的、システムの的な人材育成ができる。</p> <p>・全国的な動向を把握し、先駆的なモデルの転用の可能性を判断できる。</p> <p>・組織としての人材育成の質を保証できる。</p>
<p>研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ①適切な研究デザインを用いて評価計画を立案する能力 ②評価計画に基づき評価、政策・施策評価する能力 ③日頃から研究的支援をもって活動し、保健活動の改善に向けた研究を遂行する能力 ④研究成果を公表し、普及する能力 	<p>・公衆衛生看護に関する研究問題を検討できる。</p> <p>・公衆衛生看護に関する研究設問を設定できる。</p> <p>・研究計画に基づきデータ収集できる。</p>	<p>研究成果を公衆衛生看護の実践と照らし合わせて意味づけをすることができる。</p>	<p>研究のリーダーシップをとることができる。</p>	<p>・スタッフの研究遂行の指導ができる。</p> <p>・研究計画を評価できる。</p> <p>・研究遂行のプロセスを評価できる。</p>	<p>・研究により、実践を改善する風土を職場内に醸成することができる。</p> <p>・職場内における学会発表や論文作成を推進することができる。</p>